

第 1 事業報告書

平成 30 年度公益財団法人広島市農林水産振興センター事業報告書 (平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

広島市における農林水産業等の振興を図るとともに、農山漁村地域の持つ公益的機能を活用した事業を推進し、もって活力ある農山漁村地域の確立と健康で豊かな市民生活の向上に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

平成 4 年 4 月 1 日 財団法人広島市農業振興センターとして設立

平成 10 年 4 月 1 日 財団法人広島市林業振興公社と統合

平成 17 年 4 月 1 日 財団法人広島市水産振興協会と統合

平成 24 年 4 月 1 日 公益財団法人へ移行

イ 基本財産

設立当初、基本財産は、5,000 万円（全額広島市出資）であったが、平成 10 年 4 月 1 日の財団法人広島市林業振興公社との統合に伴い、同財団から 3,000 万円を寄附受領した。

また、平成 17 年 4 月 1 日の財団法人広島市水産振興協会との統合に伴い、広島市から 1,000 万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、9,000 万円（うち広島市出資 6,000 万円）である。

ウ 実施事業

- (ア) 農林水産業の振興に関する指導及び普及啓発
- (イ) 農林水産業に関する調査及び試験研究
- (ウ) 水源涵養、緑地保全等公益的機能の活用に関する指導及び普及啓発
- (エ) 農山漁村地域の担い手の育成及び指導
- (オ) 農地利用集積円滑化に関する事業
- (カ) 水産資源の維持増殖に必要な重要魚介類等の種苗生産
- (キ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の数

理事長 1 人
常務理事 1 人
理事 8 人
監事 2 人
評議員 7 人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
平成 30 年 4 月 1 日	監事	久光章	就任
平成 30 年 6 月 1 日	理事長	新谷耕治	重任

平成30年6月1日	常務理事	中ノ殿 潔	重 任
平成30年6月1日	理 事	甲 斐 智 子	重 任
平成30年6月1日	理 事	木 村 洋 三	重 任
平成30年6月1日	理 事	倉 本 守	重 任
平成30年6月1日	理 事	島 本 啓 司	重 任
平成30年6月1日	理 事	鈴 木 修 治	重 任
平成30年6月1日	理 事	中 森 公 司	重 任
平成30年6月1日	理 事	三 浦 隆 志	重 任
平成30年6月1日	理 事	向井田 輝 紀	重 任
平成30年6月1日	監 事	井手下 文 子	重 任
平成30年6月1日	監 事	久 光 章	重 任
平成31年3月31日	常務理事	中ノ殿 潔	辞 任

イ 平成31年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役 職	氏 名	就任年月日
理 事 長	新 谷 耕 治	平成29年 4月 1日
常 務 理 事	中ノ殿 潔	平成27年 4月 1日
理 事	甲 斐 智 子	平成24年 4月 1日
理 事	木 村 洋 三	平成28年 6月 3日
理 事	倉 本 守	平成24年 4月 1日
理 事	島 本 啓 司	平成24年 4月 1日
理 事	鈴 木 修 治	平成24年 4月 1日
理 事	中 森 公 司	平成28年 6月 3日
理 事	三 浦 隆 志	平成28年 6月 3日
理 事	向井田 輝 紀	平成24年 4月 1日
監 事	井手下 文 子	平成24年 4月 1日
監 事	久 光 章	平成30年 4月 1日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動はない。

イ 平成31年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役 職	氏 名	就任年月日
評 議 員	浅 枝 俊 治	平成24年 4月 1日
評 議 員	吉 川 清 二	平成28年 6月 3日
評 議 員	河 野 芳 徳	平成24年 4月 1日
評 議 員	中 川 和 義	平成24年 4月 1日
評 議 員	波 田 輝 明	平成28年 6月 3日

評 議 員	森 正 記	平成 2 6 年 7 月 1 日
評 議 員	山 本 雅 子	平成 2 4 年 4 月 1 日

3 理事会等の開催

(1) 理事会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成 3 0 年 5 月 1 7 日	平成 3 0 年 第 2 回	平成 2 9 年 度 公 益 財 団 法 人 広 島 市 農 林 水 産 振 興 セ ン タ ー 事 業 報 告 及 び 決 算	承認
		定 時 評 議 員 会 の 招 集 に つ い て	原 案 可 決
		平 成 2 9 年 度 に お け る 職 員 の 職 務 に 係 る 倫 理 の 保 持 に 関 す る 状 況 等 に つ い て 「 報 告 」	終了
		平 成 3 0 年 度 に お け る 職 務 の 執 行 状 況 に つ い て 「 報 告 」	終了
平成 3 0 年 6 月 1 日	平成 3 0 年 第 3 回	理 事 長 (代 表 理 事) の 選 定 に つ い て	選 定
		常 務 理 事 の 選 定 に つ い て	選 定
平成 3 1 年 3 月 2 7 日	平成 3 1 年 第 1 回	平 成 3 1 年 度 公 益 財 団 法 人 広 島 市 農 林 水 産 振 興 セ ン タ ー 事 業 計 画 及 び 収 支 予 算	承認
		常 勤 役 員 の 報 酬 等 に つ い て	承認
		平 成 3 0 年 度 に お け る 職 務 の 執 行 状 況 に つ い て 「 報 告 」	終了

(2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成 3 0 年 4 月 1 日	平成 3 0 年 第 1 回	監 事 の 選 任 に つ い て	選 任
平成 3 0 年 6 月 1 日	平成 3 0 年 第 2 回	平 成 2 9 年 度 公 益 財 団 法 人 広 島 市 農 林 水 産 振 興 セ ン タ ー 事 業 報 告 「 報 告 」	終了
		平 成 2 9 年 度 公 益 財 団 法 人 広 島 市 農 林 水 産 振 興 セ ン タ ー 決 算	承認
		役 員 の 選 任 に つ い て	選 任

4 定款の変更

事業年度中の定款の変更はない。

5 職員の状況

平成31年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。(単位：人)

区分	事務職員					小計	技術職員					小計	業務員	非常勤職員	合計	
	部長級	課長級	補佐級	係長級	主事		部長級	課長級	補佐級	係長級	技師					
農林部	調整課			1	1	3	5	1	1		1		3		3	11
	農業担い手育成課								1	2	2	8	13			13
	農林振興課								2	1	3	5	11		2	13
水産部	普及指導課					1	1	1		1		2	4		2	7
	栽培漁業課								1		1	2	4	3	1	8
合計				1	1	4	6	2	5	4	7	17	35	3	8	52

6 事業の実施状況

次の事業を実施した。

(1) 公益目的事業 161,859,436円

次のとおり公益目的事業を実施した。

ア 農業の担い手の育成及び試験研究（公益目的事業1） 40,363,103円

区分	事業内容等	決算額
担い手の育成	<p>“ひろしま活力農業” 経営者育成</p> <p>本格的な農業経営を行う若い農業者を育成するため、研修を行うとともに農地の輪旋や営農支援を行った。</p> <p>(ア) 研修活動</p> <p> a 基礎研修 21期生 2人（30年4月～31年3月） 講義及び実習 242日</p> <p> b 実地研修 20期生 3人（30年4月～11月） 19期生（次点者）1人（30年1月～11月） 就農予定地(白木町1人、安佐町1人、阿戸町1人、安芸太田町1人)での営農研修</p> <p>(イ) 農地の確保・輪旋（農地の利用権設定）</p> <p> a 21期生 1人 6,130㎡（白木町三田）</p> <p> b 20期生 2人 18,825㎡（安佐町小河内、阿戸町国草） 19期生（次点者）1人 4,778㎡（白木町井原）</p>	千円 6,594

区 分	事 業 内 容 等	決算額
担い手の育成	(ウ) 経営確立支援 (1～20期生) a 「こまつな」からの品目転換の支援 ほうれんそう・みずな等を試作 7人 b 営農支援講習 3回 延べ14人 (エ) 22期生募集・選考 a 応募 7人 b 選考 4人 (うち安芸太田町1人)	—
	「スローライフで夢づくり」新規就農者育成 (指定管理業務) 新規就農希望者を対象に、野菜・花きの生産、販売の研修、農地の斡旋などの就農支援を行った。 (ア) 研修活動 14期生研修 2人 講義、実習及び先進農家見学など 134日 (イ) 農地の確保・斡旋 (農地の利用権設定) 14期生 2人 2, 598㎡ (ウ) 就農後の活動支援 (1～13期生) 営農支援講習 12回 延べ25人 (エ) 15期生募集・選考 a 応募 10人 b 選考 7人	千円 374
	ふるさと帰農者育成 (指定管理業務) 農家出身者を対象に、野菜・花きの生産、販売の研修を行った。 (ア) 研修活動 13期生研修 10人 (うち修了9人) 講義、実習及び先進農家見学など 95日 (イ) 就農後の活動支援 (1～12期生) 営農支援講習 12回 延べ156人 (ウ) 14期生募集・選考 a 応募 15人 b 選考 10人 (うち竹原市1人)	千円 204
	“チャレンジ”女性農業者育成 (指定管理業務) 農家の女性を対象に、野菜・花きの生産、加工、販売の研修を行った。 (ア) 研修活動 9期生研修 10人 (うち廿日市市1人、安芸高田市1人、安芸太田町2人) 講義、実習及び先進農家見学など 95日 (イ) 就農後の活動支援 (1～8期生) 営農支援講習 12回 延べ39人 (ウ) 10期生募集・選考 a 応募 5人 b 選考 5人 (うち安芸高田市1人、世羅町1人、山口県和木町1人)	千円 134

区分	事業内容等	決算額
担い手の育成	<p>広島市農業経営改善支援センターの運営（指定管理業務）</p> <p>認定農業者等の経営改善に関する相談、支援研修の開催、情報収集・提供活動などを行った。</p> <p>（ア）経営改善支援活動</p> <p> a 経営改善に関する相談 29件</p> <p> b ICTを活用したスマート農業に関する研修会 24人（2月19日）</p> <p> c 家族経営協定調印式の開催 4家族（3月26日） 広島市認定農業者協議会総会の開催（2月19日）</p> <p>（イ）情報収集提供活動等</p> <p> a 情報収集、提供活動 5件</p> <p> b 経営改善フォローアップ活動 10件</p> <p> ※ 認定農業者等の状況（30年度末現在）</p> <p> 認定農業者総数 108経営体</p> <p> （30年度再認定21経営体、新規認定4経営体）</p> <p> 認定新規就農者総数 16経営体（30年度新規認定4経営体）</p>	千円 152

区分	事業内容等	決算額						
普及啓発	<p>“ひろしまそだち”地産地消推進</p> <p>“ひろしまそだち”産品の理解促進を図るため普及啓発を行い、地産地消を推進した。</p> <p>(ア) 普及啓発活動</p> <p>a 情報誌「ひろしまそだちだより25号」の発行 協議会員、関係機関などへ配布 3,000部</p> <p>b 「ひろしまフードフェスティバル2018」(10月27,28日)での産品PR</p> <p>c ホームページによる情報発信 コマツナなどのPR 5回</p> <p>d 広島近郊6大葉物野菜(こまつな、サラダみずな、しゅんぎく、ほうれんそう、パセリ、青ねぎ)などについて、生産者と流通業者を対象とした試食・意見交換会を1回(7月31日)開催した。</p> <p>(イ) 推進体制の強化</p> <p>a “ひろしまそだち”地産地消推進協議会の開催(2月26日)</p> <p>b “ひろしまそだち”野菜アドバイザー育成・支援 料理教室などで市民へ“ひろしまそだち”の普及啓発を行う野菜アドバイザーの研修と修了生の活動支援を行った。</p> <p>(a) 9期生募集・選考 応募5人 選考4人</p> <p>(b) 9期生研修(1年間) 都市農業視察と意見交換など 10回</p> <p>(c) フォローアップ研修(1～8期生) 産地見学会 1回 15人</p> <p>(d) 活動支援 “ひろしまそだち”普及啓発用の野菜提供 ブロッコリーなど1回</p> <p>c “ひろしまそだち”地産地消協力店の登録・支援 “ひろしまそだち”産品を積極的に取り扱う小売店・飲食店等を登録し、産品の消費拡大を図った。 新規8店舗 廃業1店舗(30年度末現在74店舗)</p> <p>d GAPの推進</p> <p>(a) JGAP指導員養成講座の受講、指導員資格取得 職員1人</p> <p>(b) JGAP指導員による生産者・消費者研修会の開催 3回</p> <p>(ウ) 6次産業化サポート 生産者グループを対象に6次産業化を推進していくことで、生産者の所得向上に努めた。</p> <p>a 農産加工に関する研修会の開催 2回</p> <p>b 既存商品の改善や新商品開発の支援 2回</p> <p>(エ) ひろしま朝市の支援 地産地消及び農林漁業者と市民の交流を推進する場としての朝市の魅力アップに向けた支援を行った。</p> <p>a 開催状況</p> <table border="1" data-bbox="454 1877 1099 2018"> <thead> <tr> <th>開催回数</th> <th>出店数</th> <th>販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>41回</td> <td>518店 (13店/回)</td> <td>11,595,645円 (282,821円/回)</td> </tr> </tbody> </table> <p>b イベント開催 2回(夏まつりと秋まつりは荒天などのため中止) 春まつり 4月22日 感謝祭 12月23日</p>	開催回数	出店数	販売額	41回	518店 (13店/回)	11,595,645円 (282,821円/回)	千円 3,559
開催回数	出店数	販売額						
41回	518店 (13店/回)	11,595,645円 (282,821円/回)						

区分	事業内容等	決算額
普及啓発	<p>食農推進</p> <p>市民に「食」と「農」の普及啓発を行い、食の大切さとそれを支える農業・農村の重要性について理解促進を図った。</p> <p>(ア) 食農体験推進</p> <p>農業振興センターの施設を活用し、農作物の栽培から食べることまでの一貫した体験を通じて市民の「食」と「農」の理解の促進を図るため、食農体験を実施した。</p> <p>a 「えだまめ」の食農体験 2回 延べ37人</p> <p>b 「だいこん」の食農体験 2回 延べ39人</p> <p>(イ) 食農コーディネーターの育成・支援</p> <p>食農体験等の企画・運営に携わる食農コーディネーターの育成と修了生の活動支援を行った。</p> <p>a 9期生募集・選考 応募7人 選考4人</p> <p>b 9期生1年目研修 都市農業視察と意見交換など11回</p> <p>c 活動支援(対象者1～8期生)</p> <p>(a) フォローアップ研修会及び体験会 6回 延べ34人</p> <p>(b) “ひろしまそだち”普及啓発用の野菜提供 こまつななど4回</p>	千円 127
	<p>広島市アグリ人材バンク</p> <p>農業・農村振興に係る優れた技能を指導できる人材の発掘・登録を行った。</p> <p>新規登録1人(30年度末現在34人)</p>	千円 16
	<p>市民参加の森林づくりの支援</p> <p>市民が森林づくり活動に自発的に参加するような動機付けと、気軽に参加できる機会を提供し、緑とのふれあいを通じて、森林・林業に関する認識を深めるため、市民参加の森林づくり実行委員会等が行う次の事業の企画・運営等を支援した。</p> <p>(ア) 「もりメイト」育成</p> <p>市民参加の森林づくりの先導的役割を果たすボランティアを育成するため、森林に関する知識や林業技術習得に係る講習会を開催した。</p> <p>a 23期生募集・抽選 32人(応募者全員を23期生に選定)</p> <p>b 23期生講習 下刈り、間伐、植林、枝打ちなど8回 (修了生29人)</p> <p>(イ) 「女性のための森林づくり入門体験講座」開催</p> <p>女性に森林づくりへの関心を深めてもらうため、森の診断や木の伐採、自然観察などを無理なく安全に楽しみながら、学び体験できる初心者向けの講習会を開催した。</p> <p>受講生 18人(10月7日、14日)</p> <p>(ウ) 森林整備活動用具の貸出し</p> <p>森林整備活動を支援するため、森林整備活動を行う団体に対し、必要とする道具や安全具の貸出しを行った。</p> <p>貸出回数 12回(11団体) 貸出個数 延べ766個</p>	千円 —

区分	事業内容等	決算額									
普及啓発	<p>(エ) ひろしま「森の市」開催 市民の森林・林業への理解を深めるため、木製品や森の産物の展示販売等を行う森林ボランティア団体等を支援した。 開催日 11月4日、参加団体 11団体 開催場所 広島市植物公園（入園者数935人）</p> <p>(オ) みどりの少年団活動支援 小学生の自然に対する理解や愛護心を養うため、森林などに生息する植物や動物についての観察学習等を支援した。 a 団員数 31人（小学5～6年生、少年団OB・OG） b 活動内容 植物観察など9回 延べ153人</p>	—									
	<p>森林整備技術の普及指導等 市民による適切な森林管理を進めるため、技術研修等を行った。</p> <p>(ア) 里山整備士養成 健全な里山の再生を行うため、広島市域の里山において、市民ボランティアと地域住民が協働で森林整備等を行う際の指導者「里山整備士」を対象に、里山の再生・整備に必要な知識・技術のフォローアップ研修等を行った。 a 広島市里山整備士総会の開催 22人（5月25日） b フォローアップ研修（1～11期生） 測量実習12人（6月30日）、植物観察7人（7月28日）、 間伐講習11人（9月22日）、間伐実習8人（10月13日） c 活動の支援 里山整備士と活動団体とのマッチングと、普及啓発用チラシ（2,000部）の作成・配布を行った。</p> <p>(イ) 自伐林業担い手支援 森林所有者や地域住民の管理意識の高揚を図り、適切な森林管理を促すため、森林整備や未利用材の搬出に係る講習会を開催した。 a 簡易集材機による木材搬出講習会 地域における未利用材搬出を普及啓発するため、講習会を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="448 1541 1291 1693"> <thead> <tr> <th>開催場所</th> <th>受講者</th> <th>開催日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沼田会場</td> <td>3人</td> <td>3日(2月2日、23日、24日)</td> </tr> <tr> <td>湯来会場</td> <td>8人</td> <td>3日(12月15日、1月19日、2月16日)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 豪雨災害の影響により畑賀会場(安芸区)については中止</p> <p>b 間伐安全講習会 間伐作業を行う地域住民を対象に、間伐の安全講習会を開催した。 受講者 11人（11月23日、25日）</p> <p>c チェーンソー等特別講習 チェーンソー使用による伐木等に係る法定特別講習を開催した。 (a) チェーンソー特別講習 13人（8月25日、26日） (b) 刈払機特別講習 14人（8月19日）</p>	開催場所	受講者	開催日数	沼田会場	3人	3日(2月2日、23日、24日)	湯来会場	8人	3日(12月15日、1月19日、2月16日)	千円 6,202
開催場所	受講者	開催日数									
沼田会場	3人	3日(2月2日、23日、24日)									
湯来会場	8人	3日(12月15日、1月19日、2月16日)									

区 分	事 業 内 容 等	決算額
普及啓発	<p>(ウ) 半林半X移住者支援</p> <p>中山間地域への移住者を、自ら森林を育て管理し、林業経営を行う自伐林家として育成するため、各種の林業技術研修を行った。</p> <p>a 研修内容</p> <p>林業の基礎知識・技術の習得、安全管理、森林調査、利用間伐作業の基礎実習、作業道の開設など</p> <p>b 開催期間 6月1日～3月15日</p> <p>c 受講者 2人 { 安佐北区白木町井原地区1人 } 佐伯区湯来町水内地区1人</p>	—
	<p>「ひろしま農林水産振興ニュース」の発行（指定管理業務）</p> <p>農林漁業者や市民に対し、本財団の業務紹介などを行い、農林水産業の理解促進を図った。</p> <p>(ア) 発行回数 年2回 7月（第51号）、3月（第52号）</p> <p>(イ) 発行部数 各12,000部（農家、関係機関などへ配布）</p>	千円 254
体験活動	<p>花みどり公園（指定管理業務）</p> <p>公園内の諸施設の管理運営を行うとともに、園内の花木などを活用して、花や緑への興味や知識を深める講習会などを開催した。</p> <p>(ア) 施設の運営状況</p> <p>a 年間入園者数 79,810人 (うち、ドッグラン利用者数 12,521人)</p> <p>b 年間駐車台数 29,030台</p> <p>(イ) 施設の維持管理</p> <p>施設等の保守点検や維持補修を行った。</p> <p>敷地面積 92,503㎡ 管理棟、ガラス温室など 4棟 ドッグラン(小型犬800㎡、大型犬1,000㎡)</p> <p>(ウ) 講習会等の開催</p> <p>a 「2018春のシャクナゲふれあい祭り」 開催期間 4月14日～4月30日（17日間） 期間入園者数 9,070人</p> <p>(a) シャクナゲ展</p> <p>(b) 花みどり公園案内・説明ボランティア（延べ8日間）</p> <p>(c) 花苗の無料配布 500鉢（4月29日）</p> <p>b 園芸教室の開催</p> <p>コケ玉づくり 7回、ガーデニング 4回、庭木の管理等 7回、シャクナゲ講座 4回 全22回 延べ328人</p> <p>c 食農体験教室の開催</p> <p>ブルーベリージャム作り 3回（台風のため1回中止）、しめ縄作り2回、ユズ等ジャム作り1回 全6回 延べ195人</p> <p>(エ) 花みどり公園ファンクラブの活動</p> <p>a 登録者数 27人（30年度末現在）</p> <p>b 活動内容 植替え・除草や剪定などの園内管理 119日間 延べ811人</p>	千円 25,416

区分	事業内容等	決算額												
体験活動	<p>ひろしま市民の里@安佐</p> <p>「食」と「農」や自然環境保全の大切さへの理解を深めるため、野菜づくりや里山づくりなどの農林業体験を通じて、自然にふれあい、交流する機会を提供した。</p> <p>(ア) 農林業体験参加者の募集・登録 新規登録者数4人(30年度末現在 238人)</p> <p>(イ) 農地の維持管理(田 9a、畑 45a 計54a)</p> <p>(ウ) 農林業等体験(307日 延べ 1,246人)</p> <p>a 農林産物の栽培 大豆、そば、さつまいもなど</p> <p>b 食文化体験 豆腐作り、餅つき、そば打ちなど 19回</p> <p>c 里山林の手入れ体験 4回</p> <p>d 自然観察会 3回</p> <p>(エ) 作業道・遊歩道の整備等 作業道新設 1,000m</p> <p>(オ) 運営協議会の開催 2回(7月23日、3月18日)</p>	千円 6,841												
	<p>広島市市民体験農園</p> <p>市民が栽培方法の指導を受けながら野菜づくりができる農家が開園した市民体験農園2か所(安佐北区勝木、佐伯区石内)の入園事務を行うとともに、管理指導者の活動支援を行った。</p> <p>(ア) 入園事務 広報、入園者の募集・貸付契約事務 共同体験エリア 75組分(入園54組、72.0%) 個人体験エリア 111区画(入園96区画、86.5%)</p> <p>(イ) 管理指導者の活動支援 営農支援講習会等への参加案内</p> <p>広島市市民菜園</p> <p>市民が利用しやすい市街地近郊にある農家が開園した市民菜園40か所の管理運営等を行った。</p> <p>(ア) 入園事務 広報、入園者の募集、貸付契約事務 貸付区画 2,528区画(入園2,139区画、84.6%)</p> <p>(イ) 施設の維持管理 ポンプ等附属設備の修繕、空き区画の管理など</p> <p>(ウ) 講習会の開催 講習会9回 延べ203人(5か所で開催)</p> <table border="1" data-bbox="440 1765 1310 2029"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>場 所</th> <th>実施月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春夏野菜の栽培管理</td> <td>地域福祉センター(4か所)</td> <td>4月</td> </tr> <tr> <td>農業振興センターほ場見学</td> <td>農業振興センター</td> <td>6月</td> </tr> <tr> <td>秋冬野菜の栽培管理</td> <td>地域福祉センター(4か所)</td> <td>7、8月</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	場 所	実施月	春夏野菜の栽培管理	地域福祉センター(4か所)	4月	農業振興センターほ場見学	農業振興センター	6月	秋冬野菜の栽培管理	地域福祉センター(4か所)	7、8月	千円 2,964
内 容	場 所	実施月												
春夏野菜の栽培管理	地域福祉センター(4か所)	4月												
農業振興センターほ場見学	農業振興センター	6月												
秋冬野菜の栽培管理	地域福祉センター(4か所)	7、8月												

区分	事業内容等	決算額
体験活動	<p>広島市市民農園（指定管理業務）</p> <p>市民に栽培体験の場を提供することにより、健康的でゆとりのある生活の確保を図るとともに、入園者に加え多くの市民が参加できる地域の特色を生かした行事等を実施することによって、都市農村交流を推進するため、広島市が開設した市民農園（三田市民農園、見張市民農園、三国市民農園）の入園事務や管理運営を行った。</p> <p>（ア）入園事務</p> <p>広報、入園者の募集・貸付契約事務、利用料金の徴収</p> <p>a 三田市民農園 貸付区画 112区画（入園75区画、67.0%）</p> <p>b 見張市民農園 貸付区画 178区画（入園68区画、38.2%）</p> <p>c 三国市民農園 貸付区画 137区画（入園113区画、82.5%）</p> <p>（イ）施設の維持管理</p> <p>附属設備の修繕、空き区画の管理など</p> <p>a 三田市民農園 5,500㎡ 管理棟 1棟</p> <p>b 見張市民農園 8,650㎡ 管理棟 1棟</p> <p>c 三国市民農園 3,375㎡</p> <p>（ウ）都市農村交流会、講習会などの実施</p> <p>a 三田市民農園 9回 延べ191人 栽培講習会2回、収穫祭、おたのしみ区画講習会4回など</p> <p>b 見張市民農園 30回 延べ1,021人 栽培講習会2回、収穫祭、おためし区画講習会1回、おたのしみ区画講習会8回、食農区画サツマイモ植付・掘り取り体験など</p> <p>c 三国市民農園 5回 延べ46人 栽培講習会2回、収穫祭、おたのしみ区画講習会2回</p> <p>（エ）管理組織の活動支援</p> <p>地元運営委員会の指導・育成を行った。</p>	千円 10,837
森林の保全・整備	<p>水源林等の整備</p> <p>広島市が管理する森林の公益的機能の向上を図るため、水源林等の整備を行った。</p> <p>（ア）太田川源流の森整備</p> <p>広島市水道局が廿日市市吉和において所有する森林（354.92ha）について、水源かん養機能を十分に発揮させるため、「太田川源流の森整備基本計画」に基づき、計画的に森林整備等を行った。</p> <p>a 森林整備（人工林の保育施業等） 下刈 0.63ha、境界歩道下刈 0.16ha、 管理歩道（作業道）維持補修 556m</p> <p>b 普及啓発 水源かん養の重要性を広く啓発するため、市民が行う森林保全活動（間伐等）をサポートした。 活動場所の下刈 3.00ha、危険木の処理 一式</p>	千円 30,191

区分	事業内容等	決算額
森林の保全・整備	<p>(イ) 市有林等の整備</p> <p>市有林(3,332.2ha)及び分収林(広島市が森林所有者と将来の伐採収益を分け合う分収林契約を締結した森林347.26ha)について、森林の有する公益的機能の向上を図るとともに、森林施業のモデル展示林として市域の林業の活性化に資することを目的に、適正な森林整備等を行った。</p> <p>間伐・枝打ち 55.89ha</p> <p>(豪雨災害の影響により搬出間伐及び作業道整備については中止)</p>	—

ウ 水産業の調査及び試験研究並びに普及啓発（公益目的事業3）

35,089,223円

区分	事業内容等	決算額																																															
調査及び試験研究	<p>漁業技術の普及指導等（指定管理業務）</p> <p>水産資源の確保及び漁業生産の増大を図るため、次の事業を行った。</p> <p>(ア) カキ養殖に関する調査及び指導</p> <p>カキ養殖に関する諸調査を行い、その結果をもとに養殖指導を行った。 指導件数 1,094件（うち来場・現場指導 792件）</p> <p>a カキ採苗調査</p> <p>国や県、カキ養殖業者と連携し、カキ採苗について調査を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼生調査</td> <td>6～8月</td> <td>17地点</td> <td>47回</td> </tr> <tr> <td>種見調査</td> <td>6～8月</td> <td>20地点</td> <td>51回</td> </tr> </tbody> </table> <p>b 害敵生物調査</p> <p>カキの成育不良を引き起こすムラサキイガイなどについて調査を行った。</p> <p>(a) ムラサキイガイ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼生調査</td> <td>4～7月、1～3月</td> <td>6地点</td> <td>44回</td> </tr> <tr> <td>付着調査</td> <td>4～7月、2～3月</td> <td>11地点</td> <td>35回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) 稚ガキ、アカフジツボ等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>付着調査</td> <td>9～11月</td> <td>7地点</td> <td>12回</td> </tr> </tbody> </table> <p>c 出荷サイズ調査</p> <p>カキの成育状況、出荷動向などを把握するための調査を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査期間</th> <th>対象者数</th> <th>調査件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4～5月、10～3月</td> <td>9経営体</td> <td>72件</td> </tr> </tbody> </table> <p>d カキ養殖技術研修会</p> <p>今年度のカキ採苗に関して予測される状況やカキ幼生の餌の増加等を目的として漁業団体が実施した海底耕うんの効果検証結果などについて研修を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カキ採苗研修会</td> <td>5回</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>海底耕うんに関する研修会</td> <td>1回</td> <td>16人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	調査期間	調査地点	調査回数	幼生調査	6～8月	17地点	47回	種見調査	6～8月	20地点	51回	区分	調査期間	調査地点	調査回数	幼生調査	4～7月、1～3月	6地点	44回	付着調査	4～7月、2～3月	11地点	35回	区分	調査期間	調査地点	調査回数	付着調査	9～11月	7地点	12回	調査期間	対象者数	調査件数	4～5月、10～3月	9経営体	72件	区分	回数	人数	カキ採苗研修会	5回	40人	海底耕うんに関する研修会	1回	16人	千円 1,829
区分	調査期間	調査地点	調査回数																																														
幼生調査	6～8月	17地点	47回																																														
種見調査	6～8月	20地点	51回																																														
区分	調査期間	調査地点	調査回数																																														
幼生調査	4～7月、1～3月	6地点	44回																																														
付着調査	4～7月、2～3月	11地点	35回																																														
区分	調査期間	調査地点	調査回数																																														
付着調査	9～11月	7地点	12回																																														
調査期間	対象者数	調査件数																																															
4～5月、10～3月	9経営体	72件																																															
区分	回数	人数																																															
カキ採苗研修会	5回	40人																																															
海底耕うんに関する研修会	1回	16人																																															

区 分	事 業 内 容 等	決算額																														
調査及び試験研究	<p>(イ) ノリ、ワカメ養殖に関する調査及び指導 養殖海域の環境及び生育状況を調査し、養殖の技術指導などを行った。</p> <table border="1" data-bbox="456 304 1209 405"> <tr> <td>調査期間</td> <td>調査地点</td> <td>指導件数</td> </tr> <tr> <td>11～2月</td> <td>9地点</td> <td>208件</td> </tr> </table> <p>(ウ) 魚介類に関する指導 操業海域の環境調査を行い、その結果に基づき指導を行った。</p> <table border="1" data-bbox="456 495 1216 589"> <tr> <td>指導件数</td> </tr> <tr> <td>520件</td> </tr> </table> <p>(エ) 漁場環境の調査</p> <p>a カキ漁場環境調査 広島湾北部海域及び大黒神島海域において、カキ養殖に大きな影響を及ぼす水温やクロロフィル蛍光値などの調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="437 770 1254 954"> <tr> <td>調査地点</td> <td>8地点（採苗時期 18地点）</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>116回（4～3月）</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>水温、塩分、溶存酸素量、クロロフィル蛍光値、プランクトン組成等</td> </tr> </table> <p>b 広島湾底質調査 広島湾北部海域の底質の状態を把握するため、全硫化物量などの調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="448 1090 1134 1232"> <tr> <td>調査地点</td> <td>3地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>2回（8月、2月）</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>全硫化物量、泥色、泥温等</td> </tr> </table> <p>(オ) 漁場環境の変化への対応 赤潮が見受けられた場合等に、魚介類のへい死や二枚貝の毒化を引き起こす恐れがある有害プランクトンの発生状況の調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="442 1404 1139 1545"> <tr> <td>調査地点</td> <td>4地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>13回（4月、5月、8月、3月）</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>有害プランクトンの種類・密度</td> </tr> </table> <p>(カ) 地元産品の直販支援 ひろしま朝市などで漁業者が実施する地場産魚介類の販売活動等の支援を行い、地産地消の推進を図った。</p> <table border="1" data-bbox="443 1724 1129 1818"> <tr> <td>区 分</td> <td>販売品目</td> </tr> <tr> <td>ひろしま朝市など</td> <td>カキ、鮮魚、ワカメなど</td> </tr> </table> <p>(キ) 情報の提供 カキ採苗調査や漁場環境調査結果等を取りまとめ、広島市内の漁業団体をはじめ、関係者に情報提供した。 なお、カキ養殖情報については、6月から8月までの採苗期間に広島市内のカキ養殖業者をはじめ、広島県内の関係する漁業団体等へも情報提供した。</p>	調査期間	調査地点	指導件数	11～2月	9地点	208件	指導件数	520件	調査地点	8地点（採苗時期 18地点）	調査回数	116回（4～3月）	調査内容	水温、塩分、溶存酸素量、クロロフィル蛍光値、プランクトン組成等	調査地点	3地点	調査回数	2回（8月、2月）	調査内容	全硫化物量、泥色、泥温等	調査地点	4地点	調査回数	13回（4月、5月、8月、3月）	調査内容	有害プランクトンの種類・密度	区 分	販売品目	ひろしま朝市など	カキ、鮮魚、ワカメなど	—
調査期間	調査地点	指導件数																														
11～2月	9地点	208件																														
指導件数																																
520件																																
調査地点	8地点（採苗時期 18地点）																															
調査回数	116回（4～3月）																															
調査内容	水温、塩分、溶存酸素量、クロロフィル蛍光値、プランクトン組成等																															
調査地点	3地点																															
調査回数	2回（8月、2月）																															
調査内容	全硫化物量、泥色、泥温等																															
調査地点	4地点																															
調査回数	13回（4月、5月、8月、3月）																															
調査内容	有害プランクトンの種類・密度																															
区 分	販売品目																															
ひろしま朝市など	カキ、鮮魚、ワカメなど																															

区 分	事 業 内 容 等	決算額																
調査及び 試験研究	<table border="1" data-bbox="443 174 957 412"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>提供件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カキ養殖情報</td> <td>186件</td> </tr> <tr> <td>ノリ、ワカメ養殖情報</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>海況情報</td> <td>36件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>226件</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="475 439 1246 472">情報提供とともに行った指導結果等の主なものは次のとおり。</p> <p data-bbox="435 486 643 517">a カキ採苗調査</p> <p data-bbox="448 528 1315 607">7月中旬から8月中旬にかけて広島湾内全域で採苗可能な状況が続き、市内のカキ養殖業者は必要な種苗を確保した。</p> <p data-bbox="435 620 879 651">b 害敵生物調査（ムラサキイガイ）</p> <p data-bbox="448 663 1315 741">前年度の3月中旬から5月中旬にかけて平年値を上回る付着が見られたため、前年度から継続して付着防除について指導した。</p> <p data-bbox="435 754 868 786">c ノリ、ワカメ養殖に関する調査</p> <p data-bbox="448 797 1315 920">ワカメの種糸の扱い方等について指導した結果、1月以降の水温がワカメの生育至適水温の範囲内で高く推移したこともあり、生育は順調であった。</p> <p data-bbox="400 934 919 965">(ク) シジミ資源増殖に関する調査・研究</p> <p data-bbox="435 976 1315 1099">太田川におけるシジミ資源量を把握するための調査を行った。また、シジミ資源を増大させるための取組みを行い、その効果を検証した。</p> <p data-bbox="435 1113 759 1144">a シジミ資源状況等調査</p> <p data-bbox="448 1155 1315 1279">太田川下流域のシジミ漁場におけるシジミの資源状況、水温及び塩分濃度の調査を行った結果、これまでの調査結果と同様に、春に確認できた数に比べ秋は減少していた。</p> <p data-bbox="448 1292 1315 1415">河川で採捕したクロダイの消化管から多量のシジミの貝殻が確認されていることから、食害により資源が減少していると考えられた。</p> <table border="1" data-bbox="448 1420 963 1518"> <tbody> <tr> <td>調 査 時 期</td> <td>5月、11月</td> </tr> <tr> <td>調 査 地 点</td> <td>27地点</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="435 1550 751 1581">b 人工種苗成育状況調査</p> <p data-bbox="448 1592 1299 1671">川砂を入れた塩ビ管に本センターで生産した種苗を収容し、生存状況の調査を漁業者と共同で行った。</p> <p data-bbox="443 1684 1315 1762">1ヶ月毎に生存状況等を調査した結果、平成27年度から30年度までに生産した種苗の生存率は、いずれも90%以上であった。</p> <p data-bbox="443 1776 1315 1899">なお、平成27年度から29年度までに生産した種苗については、平成30年7月豪雨の影響で流失したため、それ以降は調査できなかった。</p> <table border="1" data-bbox="443 1921 1243 2065"> <tbody> <tr> <td>調 査 期 間</td> <td>4月～6月（平成27年度から29年度までに生産した種苗）、10月～3月（平成30年度に生産した種苗）</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	提供件数	カキ養殖情報	186件	ノリ、ワカメ養殖情報	4件	海況情報	36件	合 計	226件	調 査 時 期	5月、11月	調 査 地 点	27地点	調 査 期 間	4月～6月（平成27年度から29年度までに生産した種苗）、10月～3月（平成30年度に生産した種苗）	—
区 分	提供件数																	
カキ養殖情報	186件																	
ノリ、ワカメ養殖情報	4件																	
海況情報	36件																	
合 計	226件																	
調 査 時 期	5月、11月																	
調 査 地 点	27地点																	
調 査 期 間	4月～6月（平成27年度から29年度までに生産した種苗）、10月～3月（平成30年度に生産した種苗）																	

区分	事業内容等	決算額																																	
調査及び試験研究	<p>つくり育てる漁業の推進（指定管理業務） 水産資源の維持増大を図り、市民へ新鮮な魚介類を安定的に供給するため、次の事業を行った。</p> <p>(ア) 種苗生産 次のとおり種苗を生産し、広島市に引き渡した。</p> <table border="1" data-bbox="454 409 1273 786"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>計画数量</th> <th>生産結果</th> <th>大きさ等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガザミ</td> <td>20万尾</td> <td>21.2万尾</td> <td>稚ガニ 3令以上</td> </tr> <tr> <td>マコガレイ</td> <td>10万尾</td> <td>—※</td> <td>30mm以上</td> </tr> <tr> <td>オニオコゼ</td> <td>3万尾</td> <td>3.06万尾</td> <td>40mm以上</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>1万尾</td> <td>1.79万尾</td> <td>60mm以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成31年4月に13.5万尾、広島市に引き渡し予定</p> <p>(イ) シジミ種苗生産試験及び技術指導 シジミ資源の増大に向け、太田川産のシジミを用い、種苗生産試験を行うとともに、漁業者への技術指導を行った。 今年度で生産試験を終了し、次年度から水産物の増養殖推進事業として種苗生産を行う。</p> <table border="1" data-bbox="454 1099 1273 1238"> <tbody> <tr> <td>試験期間</td> <td>7～10月</td> </tr> <tr> <td>試験結果</td> <td>殻長0.4mm～5.0mmの種苗を185.6万個生産した。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ウ) 種苗放流指導 漁業関係者を対象に、種苗放流、栽培漁業技術などの指導及び研修会を行った。</p> <table border="1" data-bbox="454 1417 1273 1556"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種苗放流指導等</td> <td>38回</td> <td>延べ76人</td> </tr> <tr> <td>ワカメ研修会</td> <td>1回</td> <td>22人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(エ) 種苗放流効果調査 漁業者へ放流魚種の漁獲状況について、聞き取り調査を行った。 また、中央市場において調査した結果、入荷したマコガレイのうち放流魚の割合は約42%であった。</p> <p>(オ) 施設等の維持管理 施設などを良好に保つため、保守点検、維持補修を行った。 広島市水産振興センター 敷地面積 9,958㎡ 本館棟、ガザミ槽棟、飼育棟など 15棟 指導船（第九市水丸、なきり丸、つくね）</p>	種類	計画数量	生産結果	大きさ等	ガザミ	20万尾	21.2万尾	稚ガニ 3令以上	マコガレイ	10万尾	—※	30mm以上	オニオコゼ	3万尾	3.06万尾	40mm以上	アイナメ	1万尾	1.79万尾	60mm以上	試験期間	7～10月	試験結果	殻長0.4mm～5.0mmの種苗を185.6万個生産した。	区分	回数	人数	種苗放流指導等	38回	延べ76人	ワカメ研修会	1回	22人	千円 32,138
種類	計画数量	生産結果	大きさ等																																
ガザミ	20万尾	21.2万尾	稚ガニ 3令以上																																
マコガレイ	10万尾	—※	30mm以上																																
オニオコゼ	3万尾	3.06万尾	40mm以上																																
アイナメ	1万尾	1.79万尾	60mm以上																																
試験期間	7～10月																																		
試験結果	殻長0.4mm～5.0mmの種苗を185.6万個生産した。																																		
区分	回数	人数																																	
種苗放流指導等	38回	延べ76人																																	
ワカメ研修会	1回	22人																																	

区分	事業内容等	決算額								
調査及び試験研究	<p>水産資源に関する調査（指定管理業務） 資源量や漁獲魚種を把握し、漁業指導の基礎資料とするため、次の調査を行った。</p> <p>(ア) アサリの漁場別生息等調査 広島市海域のアサリの漁場別生息・成育状況等の調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="456 389 912 483"> <tr> <td>調査時期</td> <td>4月、5月</td> </tr> <tr> <td>調査地点</td> <td>5地点</td> </tr> </table> <p>(イ) 魚介類の漁獲実態についての聴き取り調査 漁ろう漁業者から、漁獲状況などについて随時聴き取りを行った。</p> <table border="1" data-bbox="456 573 912 667"> <tr> <td>調査時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>103回</td> </tr> </table>	調査時期	4月、5月	調査地点	5地点	調査時期	通年	調査回数	103回	千円 8
調査時期	4月、5月									
調査地点	5地点									
調査時期	通年									
調査回数	103回									
普及啓発	<p>水産業に対する理解の促進（指定管理業務） 関係団体と協力してイベントを開催し、水産業への理解の促進を図った。</p> <p>(ア) 海辺の教室 小学3～6年生とその保護者を対象に「魚のからだと年齢」など魚と漁業に関する学習会を開催した。 11回 参加者150組367人</p> <p>(イ) 水産関係イベント a 海辺の体験教室 11月に小学生とその保護者を対象に漁業、かまぼこ作り体験や生産種苗の展示などの教室を漁業団体や食品団体、地元大学と協力して開催した。参加者88組176人 b 海と漁業の体験スクール 市内の小学校などに対し、カキ打ち体験、干潟の生物観察及び種苗の放流体験を行った。11回 参加者674人 c 広島市水産まつり 漁業団体が広島マリーナホップ等で2月に開催した「広島市水産まつり」に協力し「広島市の漁業」や「つくり育てる漁業」について市民への理解を深めた。来場者数6,000人</p> <p>(ウ) 広島かき子ども体験隊 漁業団体との共催により、参加者が一連のカキ養殖作業を実際に行う体験事業を行った。3回 参加者延べ74人</p> <p>(エ) 施設の一般公開 資料展示室を公開するとともに、小中学校などの団体に対して、カキ養殖など広島市の水産業についての説明や種苗生産施設の案内等を行った。来館者数8,468人 団体数165団体</p> <p>(オ) 水産知識の情報提供 インターネットなどにより、水産業及び水産生物資源に関する情報提供を行うとともに、講師を派遣し、カキ養殖などの漁業に関する研修会を開催した。 a ホームページアクセス件数 11,461件 b 講師派遣 10回 受講者 726人</p>	千円 1,114								

(2) 収益事業等

19,025,182円

次のとおり収益事業等を実施した。

区 分	事 業 内 容 等	決算額																															
畜産振興及び 家畜診療等事業 (その他の事業1)	<p>畜産振興及び家畜診療（指定管理業務） 市民に畜産物の安定的な供給を図るため、畜産農家に対して指導を行った。</p> <p>(ア) 畜産振興 畜産農家への巡回指導を行い生産意欲の高揚と飼養技術の向上により、農家経営の安定を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>戸数</th> <th>件数</th> <th>指 導 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酪農振興</td> <td>10戸</td> <td>636件</td> <td>飼養管理技術指導、良質堆肥作製のための情報提供など</td> </tr> <tr> <td>肉用牛振興</td> <td>16戸</td> <td>1,000件</td> <td>改良増殖指導、受精卵活用による和牛子牛増産推進など</td> </tr> <tr> <td>中小家畜振興</td> <td>3戸</td> <td>12件</td> <td>衛生管理指導、感染症予防の情報提供など</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) 家畜診療 疾病の発生予防と早期発見に努め適切な診療により農家経営の安定を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>家畜診療</th> <th>無血去勢・除角</th> <th>人工授精</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,243件</td> <td>47件</td> <td>243件</td> <td>1,533件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	戸数	件数	指 導 内 容	酪農振興	10戸	636件	飼養管理技術指導、良質堆肥作製のための情報提供など	肉用牛振興	16戸	1,000件	改良増殖指導、受精卵活用による和牛子牛増産推進など	中小家畜振興	3戸	12件	衛生管理指導、感染症予防の情報提供など	家畜診療	無血去勢・除角	人工授精	合 計	1,243件	47件	243件	1,533件	千円 6,727							
区分	戸数	件数	指 導 内 容																														
酪農振興	10戸	636件	飼養管理技術指導、良質堆肥作製のための情報提供など																														
肉用牛振興	16戸	1,000件	改良増殖指導、受精卵活用による和牛子牛増産推進など																														
中小家畜振興	3戸	12件	衛生管理指導、感染症予防の情報提供など																														
家畜診療	無血去勢・除角	人工授精	合 計																														
1,243件	47件	243件	1,533件																														
	<p>家畜の改良、増殖（指定管理業務） 乳用牛・和牛の生産振興、産地育成のため、受精卵移植技術により家畜改良・増殖を行い、農家経営の安定を図った。</p> <p>(ア) 採卵</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>採卵回数</th> <th>採卵個数</th> <th>正常卵数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>和 牛</td> <td>4回</td> <td>30個</td> <td>0個</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) 移植</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>供卵牛</th> <th>受卵牛</th> <th>移植件数 (A)</th> <th>受胎件数 (B)</th> <th>受胎未確認 件数(C)</th> <th>受胎率 B/(A-C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">和 牛</td> <td>乳 牛</td> <td>47件</td> <td>19件</td> <td>※2件</td> <td>42.2%</td> </tr> <tr> <td>和 牛</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>48件</td> <td>19件</td> <td>※2件</td> <td>41.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※は31年3月末までに妊娠鑑定できなかった件数</p>	区分	採卵回数	採卵個数	正常卵数	和 牛	4回	30個	0個	供卵牛	受卵牛	移植件数 (A)	受胎件数 (B)	受胎未確認 件数(C)	受胎率 B/(A-C)	和 牛	乳 牛	47件	19件	※2件	42.2%	和 牛	1件	0件	0件	0%	合 計		48件	19件	※2件	41.3%	
区分	採卵回数	採卵個数	正常卵数																														
和 牛	4回	30個	0個																														
供卵牛	受卵牛	移植件数 (A)	受胎件数 (B)	受胎未確認 件数(C)	受胎率 B/(A-C)																												
和 牛	乳 牛	47件	19件	※2件	42.2%																												
	和 牛	1件	0件	0件	0%																												
合 計		48件	19件	※2件	41.3%																												

区 分	事 業 内 容 等	決算額																
水産物の増養殖 推進事業 (その他の事業2)	<p>つくり育てる漁業の推進 (指定管理業務) 水産資源の増殖を図るため、種苗を生産し、広島市に引き渡した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>計画数量</th> <th>生産結果</th> <th>大きさ等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アユ</td> <td>70万尾</td> <td>70万尾</td> <td>0.5g以上</td> </tr> <tr> <td>モクズガニ</td> <td>40万尾</td> <td>57.2万尾</td> <td>稚ガニ 1令以上</td> </tr> <tr> <td>ワカメ</td> <td>種糸 7,000m</td> <td>種糸 9,900m</td> <td>幼芽3mm以上</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	計画数量	生産結果	大きさ等	アユ	70万尾	70万尾	0.5g以上	モクズガニ	40万尾	57.2万尾	稚ガニ 1令以上	ワカメ	種糸 7,000m	種糸 9,900m	幼芽3mm以上	千円 12,066
種 類	計画数量	生産結果	大きさ等															
アユ	70万尾	70万尾	0.5g以上															
モクズガニ	40万尾	57.2万尾	稚ガニ 1令以上															
ワカメ	種糸 7,000m	種糸 9,900m	幼芽3mm以上															
自動販売機設置 事業 (収益事業)	<p>自動販売機設置 管理施設に自動販売機を設置し、設置業者から販売手数料を受け取った。 設置場所 農業振興センター 1台 水産振興センター 1台 花みどり公園 2台 三田市民農園 1台 見張市民農園 1台</p>	千円 232																

7 無償使用貸借資産

事業を実施するにあたって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

(1) 建物及び土地 (平成31年3月31日現在)

名 称	所 在 地	区分	現 在 高
広島市農業振興センター	広島市安佐北区深川八丁目 30番12号	建物	事務室等 545.04㎡

(2) 物品 (平成31年3月31日現在)

区 分	現 在 高	
車両	乗用車	4点
	貨物車	3点
	農耕作業用 自動車	1点
合 計	8点	

※取得価額又は評価価額が100万円以上の重要物品を記載

8 附属明細書

記載すべき事項はない。